

第 38 回 一橋植樹会 総会

平成 23 年 5 月 21 日 11 時

於 一橋大学佐野書院



《矢野二郎像》

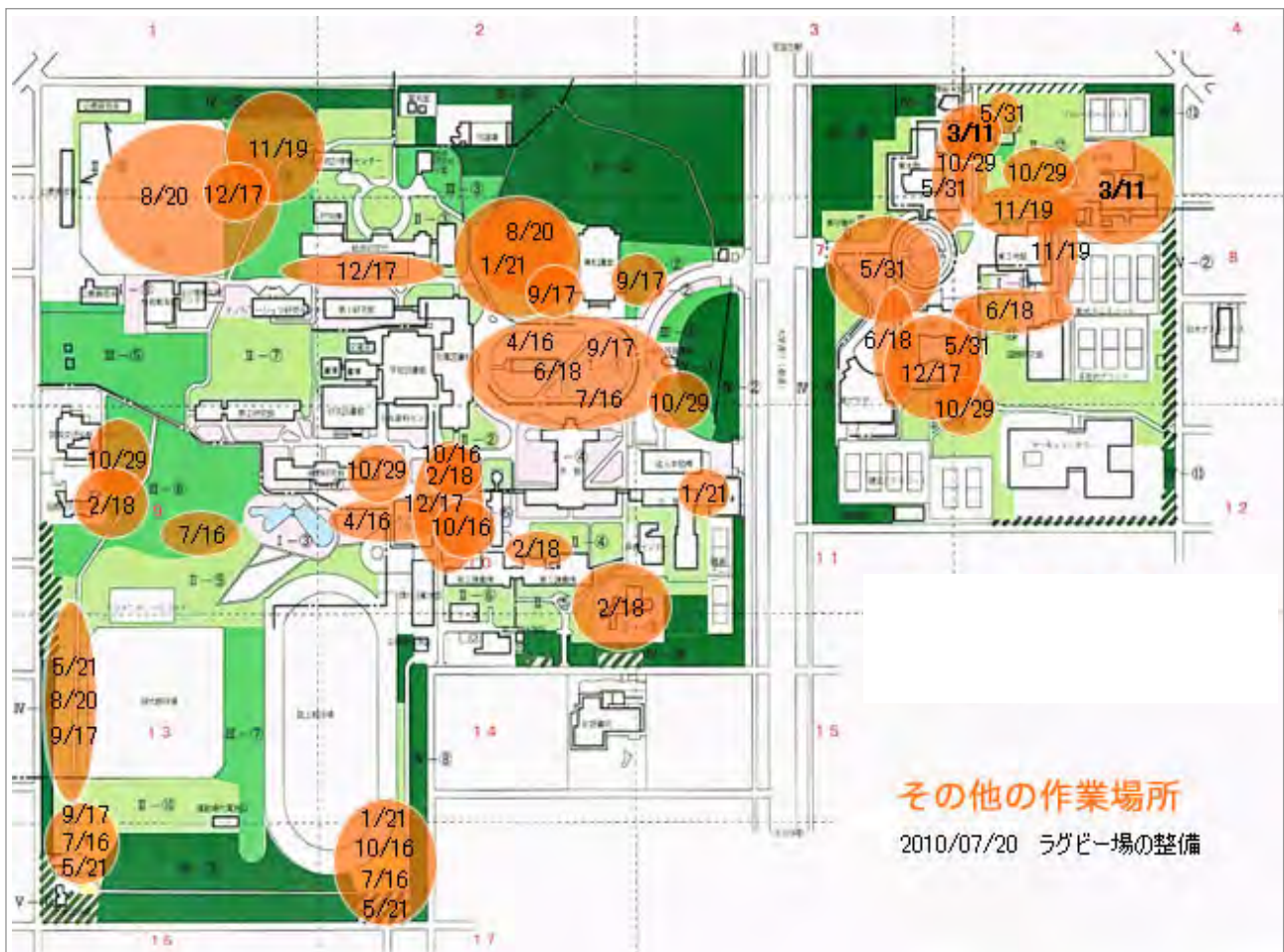
本学創立に尽力された矢野二郎先生の像周辺を、昨年の創立 135 周年・国立移転 80 周年にあわせ大学と協同で整備しました。

【国立移転当時の西キャンパス】



現在の天皇の御誕生を記念して、今の大学通りに街路樹としてソメイヨシノとイチョウが交互に植栽されました。街路樹の枝の張り方がまだ小さいようですから、昭和初期の写真と推定できます。現在の正門の両側には樹木がかなり密生しています。本館横には今も健在なヒマラヤスギが見えます。主要建築物の回りに武蔵野の林がよく残されているのに驚きました。「森の中のキャンパス」のようです。

【2010年度キャンパス全域活動エリアマップ】



第 38 回 一橋植樹会 総会議案

第 1 号議案 平成 22 年度事業報告並びに
決算報告承認の件

第 2 号議案 平成 23 年度事業計画並びに
予算承認の件

第 3 号議案 役員改選承認の件

第1号議案平成22年度事業報告

昨年の総会で発表しました事業計画に沿って活動してまいりました。多くの方々のご努力によりほぼ目標を達成することが出来ました。ご協力戴きました皆様に厚くお礼申し上げます。

項目別に下記報告申し上げます。

1. ボランティア作業

(1) 作業実績

平成22年度は、12回の月例作業（うち1回は一橋祭実行委員会との共催）と休日作業（10月16日）、並びにKODAIRA祭準備、ラグビー場整備など学生の主催する企画での共同作業を行いました。参加者は延べ1,219名（教職員90名、OB531名、学生598名）となり、これは前年度比約23%の増となります。1回あたりの参加者数でも、特に教職員、学生が前年度比で増加している点は喜ばしいことです。

(2) 作業内容全般

各回の作業にあたっては、「国立キャンパス緑地基本計画」を指針として、大学側と協議の上で作業の目的と範囲を明確にするように努め、枯損木・不要木の伐採、植栽木の手入れ、下草刈り、ツル草・雑草の駆除などを季節に応じて実施しました。

その結果、国立キャンパスの美化の観点からもかなり寄与することができたと考えます。

また、作業後の交流会も、「寒ブリを賞味する会」、「自然薯掘り」など恒例のイベントに加え、学生班の企画による新趣向も加わり、教職員、学生、OB三者の交流の場としてますます充実してきました。

(3) 創立135周年、国立移転80周年記念事業

9月に母校の創立135周年、国立移転80周年記念の式典が挙行されました。植樹会ではこれに向けて、矢野二郎先生像周辺の整備を実施しました。長年土に埋もれていた外周の縁石などを掘り起こして新たに玉砂利を入れ、ドウダンツツジの補植（移植）も行いました。

また、1月には、本年が5回目となる植樹会の寄贈植樹を実施するにあたって、樹高7mのケヤキを選び、創立135周年、国立移転80周年記念として、西プラザ西側広場に植樹を行いました。

(4) 休日作業の実施

従前より懸案であった休日作業が大学の協力もあって実現し、10月16日（土）に83名が秋晴れの国立キャンパスに集い、作業とそれに続くキャンパスツアーで快い汗をかきました。参加者の内訳では、教職員が14名と定例作業時の倍以上となり、全体でも22名（26.5%）が初めてもしくは暫く振りの参加でした。西プラザでの作業後の交流会では、多くの参加者から「非常に楽しかった。次の機会にも是非参加したい。」との感想が寄せられました。

2. 学生との連携

(1) 学生の作業参加促進

学生班の中に担当を決め、参加者のメールアドレスを把握し毎月の作業参加を呼びかける仕組みを作り参加者増に成果を上げました。

(2) 学生企画の作業後交流会

作業後の交流会を学生が企画して2回実施、他の学生サークルとの新しい連携が実現できました。

(3) 体育会との共同作業促進

ホッケー部、ラグビー部、ラクロス部、柔道部、剣道部、応援部との共同作業を実施しました。

(4) KODAIRA祭、一橋祭に参加

KODAIRA祭と一橋祭に参加しました。事前に行うキャンパス整備のための両委員会との共同作業は定着化し、多数の学生が参加しました。

(5) 卒業記念植樹への支援継続

東日本大震災の中で、学生側の強い要望があり3月22日に、学長臨席のもと実施しました。学生からの参加拠出金はOBからの寄付金も加え被災地への義援金としました。

3. 組織強化活動

(1) 会員の状況

添付会員数推移表の通り会員総数1,244名、有料会員数1,172名となり、会員数は着実に増加しております。特に会員数の少ない昭和49年卒以降の現役世代のOB会員増に努めました。ホームカミングデーやOB卒業周年記念大会に勧誘デスクを設け、学長はじめ大学関係者、如水会のご協力のもと、約90名の新会員登録ができました。全体として、年度新規入会員は約150名余でした。

(2) 年会費

会費収入合計320万円の目標に対し実績は収支報告の通り325万円となりました。

4. キャンパス外活動

(1) 7月14～15日に、福嶋顧問ご指導のもとに箱根の「坐忘山荘」の庭園及び外周の整備を行いました。

(2) 7月24～25日に、群馬県玉原高原でのブナの苗木植栽作業（福嶋顧問主宰のNPO）に参加しました。

(3) 11月29日、国際基督教大学キャンパスを訪問。鈴木典比古学長（一橋大昭和43年卒）の歓迎挨拶を受け、キャンパス見学後、OBのボランティア団体「森の番人」と学生の団体「ヤンモリ会」と交流親睦会を行いました。

5. 広報関連

(1) 会史「一橋植樹会の歩み」発刊

8月に、永年の懸案だった会史発刊を如水会事務局の協力を得て実現でき、全会員にお送りしました。伝統ある一橋植樹会の歴史を学び、その活動に関わってこられた先人たちの母校及び国立キャンパスに対する熱き思いを汲み取ることが出来ました。一橋植樹会の更なる発展・進化のために役立つ貴重な資料となります。

(2) 如水会々報

「植樹会通信」は引き続き毎月2ページを確保し、植樹会の活動、トピックスを掲載し、植樹会広報の役割を果たしています。

(3) ホームページ

毎月更新し、「読ませる」「見せる」内容の充実を図りました。多くの寄稿者に支えられ「トピックス」「作業報告」「キャンパスの四季」さらには「国内外大学キャンパス報告」等写真を多用し、読みやすく且つ内容のある植樹会活動の報告になっています。

6. 新しい取り組み

(1) 国立キャンパス緑地基本計画のレビュー

国立キャンパス緑地基本計画は策定されて6年が経過し、その計画の進捗状況と成果のレビューを開始しました。福嶋先生の指導の下、大学施設課とレビューチームを作り2回に亘り計画の進捗状況調査を実施しました。

(2) 「あり方研究会」発足

植樹会の今後のあり方を検討する会、「あり方研究会」を10月に立ち上げました。植樹会の定款にある会の目的と事業活動の再確認と、そして新しい取組みの検討を始めました。

①キャンパスの森と緑の美しさを学生やOBや教職員に伝える目的で、キャンパスのガイドマニュアルの作成とキャンパス緑の10景セレクションを開始しました。

②新入生へのキャンパスのPRのために入会案内を作成することとしました。

「あり方研究会」のその他のテーマとしてはキャンパスの緑やその延長線にある環境の問題などについて植樹会会員も学習し、又、学生に学ぶ機会を提供することなど今後検討して行きます。

平成22年度事業報告（附表）

（1）作業参加者の推移

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	増減
教職員	68	50	90	41
OB	404	464	531	67
学生	461	481	598	117
計	933	995	1,219	225
1回あたりの 平均作業参加者数	72 (13回)	77 (13回)	87 (14回)	10

（2）会員数の推移

会員種類		平成21年3月末	平成22年3月末	平成23年3月末	増減
個人	一般	850	998	1,097	99
	教員	47	46	43	-3
	職員	35	37	38	1
	(小計)	(932)	(1,081)	(1,178)	(97)
団体		17	16	16	0
特別		5	5	5	0
学生		41	51	45	-6
合計		995	1,153	1,244	91
(有料会員)		936	1,083	1,172	89
* (免除会員)		59	70	72	2

*免除会員→卒業後2年未満の一般会員+特別会員（除法人）+学生会員

*平成23年3月末現在、個人会員（一般、教員、職員）1,178名のうち、
終身会員数159名。

（3）卒業年次ブロック別会員数（一般のみ）

年次	会員数	割合	年次	会員数	割合
昭15～29	100	9%	昭55～59	81	7%
30～34	130	12%	昭60～平1	63	6%
35～39	270	25%	平2～6	25	2%
40～44	208	19%	7～11	16	1%
45～49	94	9%	2～16	2	—
50～54	60	6%	17～	48	4%
総会員数（一般）			1,097		

【植樹会の活動】



《月例作業の様子》



《第1回休日作業実施》

秋晴れの中、大勢の教職員、OBに学生の参加も得て盛り上がりました。新学長として就任目の山内教授も途中飛び入り参加。



《卒業記念植樹》



《一橋祭での
森のクラフト教室》



《キャンパス内での自然薯掘りや山菜を収穫しての作業後交流会》

平成22年度収支決算 及び 平成23年度予算案 (単位：千円)				
科 目	平成22年度予算	実績		平成23年度予算案
I. 収入の部				
1. 会費	3,200	3,215		3,500
1) 団体	200	195		200
2) 個人	3,000	3,020		3,300
2. 如水会支援	700	700		600
3. 一橋大学後援会	0	200		100
4. 特定収入	700	470		500
1) 総会会費		305		350
2) 募金 (カンパ)		41		50
3) 寄付		122		90
4) その他		2		10
当期収入	4,600	4,585		4,700
4. 前期繰越	2,154	2,154		2,150
収入合計 (A)	6,754	6,739		6,850
科 目	今期予算	実績	予算比	
II. 支出の部				
1. 学園祭賛助	480	490	102%	460
2. 組織強化 (学生)	370	283	76%	450
3. 集会所備品	200	112	56%	150
4. 組織強化 (一般)	200	0	0%	100
5. HPメンテナンス	700	696	99%	550
6. 広報用印刷物	350	371	106%	340
7. 総会費用	700	674	96%	650
8. 記念植樹管理費	300	94	31%	270
9. 卒業生植樹支援	100	0	0%	270
10. 作業道具・備品	300	137	46%	150
11. 保険料	150	127	85%	120
12. 会議費	250	168	67%	170
13. 作業後交流会	700	920	131%	1000
14. 事務・通信連絡費	300	478	159%	400
15. 雑費	100	38	38%	220
支出合計 (B)	5,200	4,588	88%	5,300
次期繰越	1,554	2,150		1,550

一般会計 貸借対照表 平成23年3月31日 (単位：千円)			
資産の部		負債の部	
現金	0	前受金	59
普通預金	2,225	繰越金	2,150
未収金	0	預り金	16
その他	0	その他	0
合 計	2,225	合 計	2,225

終身会員会計 貸借対照表 平成23年3月31日 (単位：千円)			
資産の部		負債の部	
普通預金	266	終身会員前受金	3,766
定期預金	3,500		
合 計	3,766	合 計	3,766

監 査 報 告 書

平成23年4月13日

一橋植樹会会長 簾野友夫 殿

私どもは、一橋植樹会の平成22年4月から平成23年3月までの事業年度における理事の業務執行状況を監査するため、理事から業務の報告を聞くなど必要と認めた手続きを実施しました。

また、同事業年度の収支及び財産の状況を検討するため、決算報告書、すなわち収支計算書および関連書類について監査を行いました。

監査の結果、理事の業務の執行は適切であり、また、上記決算報告書は収支の状況を正しく表示しております。

一橋植樹会

監事 住田 笛雄

監事 小塚 埜武寿

第2号議案 平成23年度事業計画

基本方針

1. 「国立キャンパス緑地基本計画」に基づき、安全に留意し、キャンパスの緑の保全と環境整備に取り組みます。
2. 教職員、学生、卒業生の三位一体による活動を通して、オール橋の交流の輪を広めます。
3. 国立キャンパスの緑や環境について学ぶと共に、大学の教育に役立てる方を模索します。

具体的活動計画

1. ボランティア作業

(1) 月例作業

「国立キャンパス緑地基本計画」に沿い、年間計画を作成したうえで、定番となったコースを中心とした作業を継続していきます。加えて、基本計画のレビューの過程で指摘された事項などについても、適宜定例作業に組み込んで対応していきます。

月例作業後の交流会イベントについては、メンバー間の交流促進の場として、引き続き工夫を加えながら一層の充実を図り、作業参加者の増を目指します。

(2) 休日作業の設定

前年に引き続き、仕事や授業の関係などで平日の作業に参加できない方のために、作業を体験してもらう催しを企画します。10月8日(土)を予定しています。

(3) 植樹活動

従前は毎年1回、一定規模の樹木の植樹活動を行なってきました。これに加えて、月例作業においても、作業適期を勘案しながら、植栽木の移植、補植など、幅広い植樹活動を展開していきます。

2. 学生との連携

(1) 学生の作業参加促進

- ①KODAIRA 祭及び一橋祭の実行委員会との共同作業及び体育会との共同作業への参加者の拡大に努めます。

②作業へ参加した学生のメールアドレスの把握に努め、定期的情報案内により作業参加のリピート化を図ります。

③学生の参加者増の活動として、年2回学生班企画の魅力ある作業後交流会を開催します。

(2) 学生担当の「植栽ゾーン」新設

学生が企画・管理する「植栽ゾーン」を新設し、一般学生へのPRとキャンパス美化を進めます。

(3) KODAIRA 祭、一橋祭への参加

植樹会のイベントとして参加します。

(4) 卒業記念植樹への支援継続

定着している記念植樹に今年度も支援します。学生参加者を拡大する為、参加し易い時期での実施を検討します。

3. 組織強化活動

円滑な会の活動のために、安定した財政基盤確立に努めて参ります。

(1) 定量目標

①会員総数 1,400名

有料会員 1,300名

②会費収入合計 350万円

(2) 定性目標

①団塊の世代以降の会員増に努力します。

②ホームカミングデー、OB卒業周年記念大会などイベントでの植樹会の活動PRと会員勧誘活動を引続き実施します。

③卒業年次別メール連絡網を拡大充実し、きめ細かなアテンションで会費未納者の最少化を図ります。

④特に国立周辺の如水会支部との連携強化により会員増を図ると共に、ボランティア参加者をも募ります。

(3) 長期目標

会員総数 3,000名

4. キャンパス外活動

引続き、他大学のキャンパス見学などの外部研修、外部奉仕を実施します。

5. 広報活動

- (1) 如水会々報の「植樹会通信」とホームページについては、引き続き内容の充実に努めます。なお、ホームページ閲覧の呼びかけを増やし、より多くの方に植樹会活動を理解戴くよう努力します。
- (2) 植樹会入会案内改訂版作成・活用
昨年度末に改定作業が完了した入会案内を発行します。学生向け入会案内は新入生歓迎行事の際に、OB向けは如水会々報 5月号に同梱するほか、各種PRや会員勧誘の場面で活用していきます。

6. 新しい取り組み

「あり方研究会」を継続し、下記のテーマに取り組んでいきます。

- (1) 基本方針1. については基本計画のレビューの結果を踏まえて、大学が行う計画の修正や新たな計画の策定に協力し、またその実現に寄与します。
- (2) キャンパスガイドマニュアルの完成と「キャンパス緑の10景」を決定します。
一方、キャンパスの緑について学び、ツアーガイドの育成を図ります。
- (3) 植樹会活動のフィールドワークを通じて学内のゼミ等のユニットとの連携を図ります。
- (4) 来年度に向け、植樹会関連の講義「キャンパスの緑や環境等のテーマ」の開設を目指します。本年度はそのための準備を行います。

《坐忘伊藤助成記念山荘での清掃活動》



《創立135周年、国立移転80周年記念植樹》



第 3 号 議 案 一 橋 植 樹 会 役 員 案 (敬 称 略) ☆…平成 23 年度新任の役員

会 長	篠 野 友 夫	(昭 38 経)	理 事	高 橋 治 夫	(昭 48 法)
顧 問	福 嶋 司	東京農工大学院教授	〃	秦 哲 也	(昭 50 社) ☆
〃	田 中 政 彦	(昭 35 経)	〃	田 山 毅	(平 6 経) ☆
副会長	八 藤 南 洋	(昭 40 経)	〃	山 内 進	学長(昭 52 博法) ☆
〃	佐 藤 征 男	(昭 42 経)	〃	金 田 正 男	学長特別補佐
〃	湯 川 敏 雄	(昭 42 社)	〃	小 川 英 治	副学長(昭 61 博商) ☆
〃	鐘 江 健 一 郎	(昭 44 法)	〃	落 合 一 泰	副学長 ☆
〃	筒 井 泉 雄	大学教育研究開発センター長	〃	杉 山 武 彦	名誉教授(昭 49 博商)
理 事	石 原 一 子	(昭 27 学)	〃	田 崎 宣 義	名誉教授(昭 51 博社)
〃	山 本 千 里	(昭 31 商)	〃	米 山 高 生	商学研究科教授(昭 57 博経)
〃	辻 卷 孝	(昭 34 商)	〃	林 大 樹	社会学研究科教授(昭 59 博経) ☆
〃	國 持 重 明	(昭 35 経)	〃	吉 野 正 巳	大学事務局長
〃	土 田 将 夫	(昭 37 商)	〃	柴 田 大	大学施設課長
〃	中 居 紘 一	(昭 38 経)	〃	長 岡 篤	大学学生支援課長 ☆
〃	志 田 哲 朗	(昭 39 経)	〃	二 宮 陸	(商 4 年)
〃	栗 田 克 彦	(昭 41 商)	〃	渡 邊 麗	(商 4 年)
〃	夏 目 恭 宏	(昭 41 商) ☆	〃	玉 田 祐 樹	(経 4 年)
〃	樋 口 文 夫	(昭 41 法)	〃	吉 川 和 樹	(経 4 年)
〃	関 統 造	(昭 41 社)	〃	中 西 晶 子	(法 4 年)
〃	西 村 周 一	(昭 42 経)	〃	古 川 智 子	(法 4 年) ☆
〃	川 村 忠 太 郎	(昭 42 法)	〃	小 川 優 貴	(社 4 年)
〃	高 場 恭 幸	(昭 43 経)	〃	垂 水 洸 嗣	(社 4 年) ☆
〃	五 島 康 晴	(昭 44 経) ☆	〃	青 山 佳 広	(商 3 年) ☆
〃	保 坂 証 司	(昭 44 社)	〃	荒 木 悠 一	(経 3 年) ☆
〃	田 中 襄 一	(昭 45 商)	〃	藤 田 崇 文	(経 3 年) ☆
〃	樋 浦 憲 次	(昭 45 経)	〃	有 上 ひ と み	(社 3 年) ☆
〃	川 崎 勝 晤	(昭 46 経)	〃	田 島 壮 一 郎	(社 3 年) ☆
〃	岩 城 悦 子	(昭 47 商)	〃	原 田 義 史	(商 2 年) ☆
〃	大 川 宏 明	(昭 47 経)	監 事	住 田 笛 雄	(昭 36 商)
〃	横 塚 裕 志	(昭 48 商)	〃	小 塚 埜 武 寿	(昭 41 商)
退任される役員		鈴 木 勲(昭 38 法)		新 里 英 雄(昭 41 法)	竹 澤 京 介(平 7 経)
		寺 西 重 郎(名誉教授・45 博経)		関 啓 子(社教授・51 博社)	坂 内 徳 明(言社教授・54 博社)
		盛 誠 吾(副学長・55 博法)		陸 名 明(学生支援課長)	石 田 亮 平(平 23 商)
		竹 田 雄 貴(平 23 社)		山 本 華 代(平 23 社)	鶴 見 圭 佑(経 4 年)
		幅 諒 子(社 4 年)			

平成23年度植樹会総会出席者名簿（敬称略）

	氏名	卒業年度	備考		氏名	卒業年度	備考			
1	福嶋 司		顧問 東京農工大学教授	51	川崎 勝悟	昭 46 経				
2	奥村 一郎	昭 21 学		52	村本 卓生	昭 46 経				
3	中村 敬太郎	昭 25 学		53	大川 宏明	昭 47 経				
4	本多 完五郎	昭 26 学		54	高橋 治夫	昭 48 法				
5	石原 一子	昭 27 学		55	河村 進	昭 49 経				
6	河野 正次	昭 31 商		56	秦 哲也	昭 50 社				
7	山本 千里	昭 31 商		57	平出 隆	昭 51 社				
8	出佐 正孝	昭 33 経		58	片山 文彦	昭 55 法				
9	辻卷 孝	昭 34 商		59	酒井 雅子	昭 57 法				
10	兵藤 浩	昭 34 経		60	竹澤 京介	平 7 経				
11	大泉 潤	昭 35 商		61	山田 昌弘	平 8 商				
12	岸田 加代		故・岸田登令夫人	62	岩崎 真郷	平 21 法				
13	國持 重明	昭 35 経		63	二宮 陸	4 商				
14	國持 良子			64	渡邊 麗	4 商				
15	田中 政彦	昭 35 経		65	吉川 和樹	4 経				
16	田中 由美子			66	綾 宏次朗	4 法				
17	白石 武夫	昭 35 法	多摩北支部長・昭和35年会	67	古川 智子	4 法				
18	北村 輝文	昭 35 社	未入会	68	小川 優貴	4 社				
19	杉森 登	昭 37 商		69	垂水 洸嗣	4 社				
20	藤木 隆三	昭 37 経		70	埜口 洋佑	3 社				
21	横手 英毅	昭 37 経		71	広田 恵理	2 経				
22	若林 照二	昭 38 商		一 橋 大 学						
23	出野 潔	昭 38 経								
24	中居 紘一	昭 38 経								
25	簾野 友夫	昭 38 経								
26	鈴木 勲	昭 38 法								
27	佐藤 好明	昭 39 商								
28	志田 哲朗	昭 39 経						72	山内 進	学長
29	鈴木 徹郎	昭 39 社						73	筒井 泉雄	大学教育研究開発センター長
30	八藤 南洋	昭 40 経						74	林 大樹	社会学研究科教授
31	丸茂 赳	昭 40 社						75	吉野 正巳	事務局長
32	小塚 埜武寿	昭 41 商		76	長岡 篤	学生支援課長				
33	夏目 恭宏	昭 41 商		77	矢澤 昌江	学生支援課長代理				
34	土田 進	昭 41 経		78	柴田 大	施設課長				
35	樋口 文夫	昭 41 法		79	伊藤 正秀	施設課長代理				
36	吉田 裕敏	昭 41 法		80	坪谷 英樹	施設課				
37	関 統造	昭 41 社								
38	吉田 佑一	昭 41 社								
39	佐藤 征男	昭 42 経								
40	西村 周一	昭 42 経								
41	川村 忠太郎	昭 42 法								
42	湯川 敏雄	昭 42 社								
43	松尾 芳彦	昭 43 商								
44	高場 恭幸	昭 43 経								
45	鐘江 健一郎	昭 44 法								
46	保坂 証司	昭 44 社								
47	柳原 和道	昭 44 社								
48	荻布 知三	昭 45 商								
49	田中 襄一	昭 45 商								
50	早乙女 立雄	昭 45 法								

《MEMO》



《西キャンパスの鮮やかな新緑とアジサイ》



Let's Green & Clean
一橋植樹会